

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



常呂町の美味しいをお届け♪

第12回 JAところ 収穫“菜”開催!



川上和則組合長の挨拶で販売開始



イモドックを揚げるフレッシュユミセスの皆さん



4Hクラブの野菜販売



手作りジャムです♪(緑夢ファーム)



常呂産の美味しい玉ねぎです!



「とこ3ピンクにんにく」はいかがですか?



青年部による赤い羽根共同募金



家族でお買い物に来たよ♪



長芋チップスもどうぞ! (株)S & Hファーマー

JAところは10月23日、毎年ご好評頂いている収穫したての農畜産物などの商品を販売する収穫“菜”を常呂町スポーツセンター前百年広場で行いました。

当イベントは「常呂町で生産された安全・安心な農畜産物を多くの地域住民の方々に提供し、地元産食材・加工品の素晴らしさを理解してもらい、地産地消の拡大に取り組むこと」を目的に始めたものです。今年度もコロナ禍ではありましたでしたが、感染対策を徹底しての開催となりました。

会場には常呂町の秋の味覚を求め、大勢の来場者が訪れ賑わいを見せました。



女性部のお菓子掴み取り



どれにしようかな~



今年もたくさん買えたね~



大人気カーリングおやき/(常呂町小豆生産組合)



イモドックを購入♪



美味しい長ネギはいかが?(齊藤農産)



開会の挨拶を行う小野寺会長

WEBでの参加となりました。小野寺会長は冒頭挨拶で「本大会は昭和23年に第1回の北海道大会が開催されて以降、30回の節目となつたが、新型コロナウイルスの感染拡大やデジタル化への対応、SDGsへの貢献などJA運営や事業運営に重要な時期である。組合員とJA役職員との対話を通じて、JAグループが一丸となり基本目標の実践に取組みたい」と挨拶しました。



大会に参加する川上組合長（中央）



～第30回JA北海道大会開催される～



JAとこ3会議室から、WEB上での参加となりました

「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現を！

JJA北海道中央会（小野寺俊幸代表理事会長）主催のJA北海道大会が11月16日、札幌市共済ホールで開催され、JAとこ3を代表しJAとこ3会長理事川上和則組合長が参加し、全道JAの代表者約300人が結集しました。

新型コロナウイルス感染防止のため、JAとこ3の役員・常農集団長会・青年部・女性部の代表者はJA会議室から

本大会を迎えるにあたり、「組合員

とJAとの対話活動」「青年部・女性

部などの組織討議」が行われ、その

結果を踏まえ、大会では2つの議案が審議され、基本目標①「JA運営の循環に向けて対話の成果を実践」で、農業所得の増大・生産基盤の確立

を図ること。基本目標②「JA運営の好循環を支える人づくり・JA経営の強化」では、組織活動の強化など「人づくり」に向けた取組を推進することなどの大会決議が採択され大会は終了しました。

記念講演では、元農林水産事務次官で株農林中金総合研究所理事長の皆川芳嗣氏が「2030年、2050年の地球とその中の北海道農業の姿」と題し、地球温暖化や人口減少など変化する環境の中で「関係人口の増大」や「地域内循環」などの取組みを行い諸課題を乗り越えて欲しいとJAグループへ期待する講演が行われました。

昨年発生した新型コロナウイルスの影響が2年にわたって続き、行動の制限により不自由な生活を強いられ、常農を脅かされた1年でした。

JJA事業においても組合員交流会を2年続けて中止せざるを得ない残念な結果となりました。

7月末からはようやくワクチン接種が始まり、希望の兆しが見えてきました。JAとしても集団ワクチン接種を行い、多くの組合員、ご家族の申し上げます。

日頃よりJA活動、地域活動にご理解ご協力をいただいているおります事に心より感謝申し上げます。

常呂町農業協同組合
副組合長
江田 哲

新型コロナウイルスに育かされた1年

動

にこ理解ご協力をいただ

いております事に心より感謝

申し上げます。

昨年

発生

した

新型コロナウイルス

に育

かさ

れた

1年

で

あ

り

JA活動、

地

域活

動

令和3年を振り返つて

ては7月に連日30度を超える高温で推移し、今まで経験したことがない大干ばつに見舞われ、基幹作物の馬鈴薯や玉葱の生育が停滞し、枯れるなど被害が発生しました。このような状況の中、組合員の皆さんにおかれましては管理作業、収穫作業など非常にご苦労なさった事と察し致します。

期間中に武部新衆議院議員、船橋賢二・高橋文明・鈴木一磨北海道議会議員、安藤憲彦北見市議会議員ら北見市議会産業経済常任委員、小野寺俊田大北海道農政部長の方々に、意見交換の中で継続的に安定した常農が出来るよう支援をいたしました。

本年の常呂町農業を振り返つて見ますと、4月下旬に春の播き付け作業がスタートしましたが、4月30日には48mmの降雨があり、堤外地の一部に浸水害、作付け後、耕作地の停滞水と、この時期には珍しい被雪を受けました。その後、順調に春作業が行われおりましたが、6月の降水量が4・0mm、7月は9・5mmと極端に少なく、気温について

とつて農繁期の介護軽減に繋がることを期待しております。

新型コロナウイルスの世界的な影響で、食料、生活物資などのサプライチェーンが崩れ、需給バランスが乱れています。これを解消するには持続的な国内供給体制の再構築が必要であり、改めて安全安心な農畜産物を消費者へ安定供給していく責任を痛感しました。

今後、関係機関と連携を取りながら有利に取り進めていきたいと考えております。

長年にわたり先人が作り上げてきた常呂農業の基盤をさらに発展させ、次世代へしっかりとバトンを渡さなければなりません。若い手が「夢と希望を持ち、語れる農業へ

皆さんにご協力いただいた事に感謝申し上げます。年末に近づき感染者の減少が見られ、平常の生活に戻れそうな状況になってきており、来年こそは普通の生活が送れるようにと願うばかりです。

過去にない干ばつ被害

本年の常呂町農業を振り返つて見ますと、4月下旬に春

の播

き付

け

作業

がス

タート

し

まし

た

が

48

mm

の降

雨

が

あ

り

まし

た

が

48

mm

に

あ

っ

た

が

4

・

5

mm

と

あ

っ

た

が

9

・

5

mm

と

あ

っ

た

が

10

a

と

あ

主要作物の出来秋を見ますと、麦類は秋まき小麦10・59俵／10a、春まき小麦6・53俵／10a、取扱高計画対比10・10%、馬鈴薯類は加工用途35・3俵／10a（同計画対比64%）、でん粉用途46・5俵（同計画対比70%）、玉葱は2・50基（同計画対比68%）、

今年度より新たな常呂農業を盛り込んだ第9次農業振興計画がスタートしました。組合員のためのJAとしてさらなる発展を目指しますので皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。総会決議のもとJA出資型法人の登記が終わっています。JA出資型法人の登記が終わり「ふあー夢のところ」の名称で来年から安定した農業生産、遊休地の発生防止を目指しながら稼働していく予定です。

また、来年4月には常呂厚生病院横に特別養護老人ホームが完成し、組合員の皆さんに

記念講演では、元農林水産事務次官芳嗣氏が「2030年、2050年の地球とその中の北海道農業の姿」と題し、地球温暖化や人口減少など変化づくり」に向けて取組を推進することなどの大会決議が採択され大会は終了しました。

組合員の皆様には協同組合の意義、組合員の役割について改めて振り返っていただきさらなるJA結集をお願い申して取り組んでまいります。

組合員の皆様には協同組合

的影響で、食料、生活物資などのサプライチェーンが崩れ、需給バランスが乱れています。これを解消するには持続的な国内供給体制の再構築が必要であり、改めて安全安心な農畜産物を消費者へ安定供給していく責任を痛感しました。

今後、関係機関と連携を取りながら有利に取り進めていきたいと考えております。

長年にわたり先人が作り上げてきた常呂農業の基盤をさらに発展させ、次世代へしっかりとバトンを渡さなければなりません。若い手が「夢と希望を持ち、語れる農業へ

がることを期待しております。

新型コロナウイルスの世界

的な影響で、食料、生活物資

などのサプライチェーンが崩

れ、需給バランスが乱れてい

ます。これを解消するには持

続的な国内供給体制の再構築

が必要であり、改めて安全

安心な農畜産物を消費者へ安

定供給していく責任を痛感し

た1年でした。

今後、関係機関と連携を取り

りながら有利に取り進めてい

きたいと考えております。

長年にわたり先人が作り上

げてきた常呂農業の基盤をさ

らに発展させ、次世代へしつ

かりとバトンを渡さなければ

なりません。若い手が「夢

と希望を持ち、語れる農業へ

がることを期待しております。

新型コロナウイルスの世界

的な影響で、食料、生活物資

などのサプライチェーンが崩

れ、需給バランスが乱れてい

ます。これを解消するには持

続的な国内供給体制の再構築

が必要であり、改めて安全

安心な農畜産物を消費者へ安

定供給していく責任を痛感し

た1年でした。

今後、関係機関と連携を取り

りながら有利に取り進めてい

きたいと考えております。

長年にわたり先人が作り上

げてきた常呂農業の基盤をさ

らに発展させ、次世代へしつ

かりとバトンを渡さなければ

なりません。若い手が「夢

と希望を持ち、語れる農業へ

がることを期待しております。



●本年も大活躍したラジコンヘリ

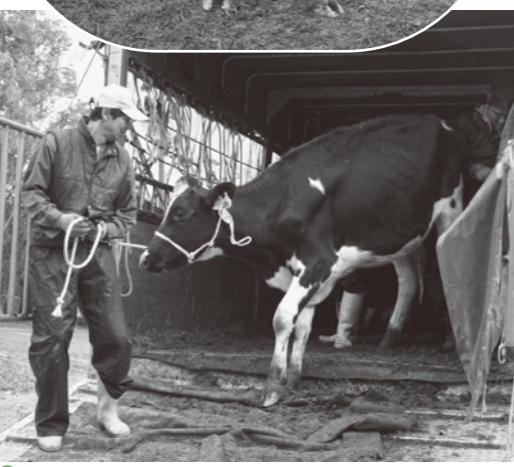


●廃プラを搬入した堀田雅仁さん

家畜への鎮魂と感謝の意を込めて

～相馬神社祭～

立派に成長し我が家へ ～農協牧場で退牧～



JJAといふは10月28日、JA川東牧場にある鶴魂碑前で相馬神社祭を執り行いました。当日は最少人数での開催とし、JA役員、酪農家など10名が出席しました。この相馬神社祭は常呂町内を一望できる牧場内で、日頃の飼養や食文化のために命をささげてくれた家畜に対する鎮魂と感謝の意を込めて供養すること目的に行っており、出席者は一人ひとり玉串を捧げ、家畜の靈を慰めました。



祈りをささげる酪農振興会山浦靖人会長

JJAといふは11月2日、病害虫対策としてラジコンヘリを使用した秋まき小麦防除を行いました。ラジコンヘリでの防除は、株式会社コハタと月形町新富地区防除組合に委託し、申し込みのあった30件、計77圃場（約168ha）を防除し、高度な技術でムラなく行われました。

JJAといふは11月9日、JA岐阜1号倉庫で第2回目の廃プラ回収を行いました。今廃プラ回収を行いました。今回、組合員から農ボリ21,793kg、農ビ112kg、育苗箱544kg、エレメント容器58kg、農薬空容器4,671kg、ペール缶142kg、バッテリー12kgが回収されました。今後も、廃プラのリサイクルから始まるクリーンな環境づくりにご協力をお願いします。

ラジコンヘリで 秋まき小麦防除

廃プラ 回収実施

10月29日、JA川東牧場で酪農家と北見市常呂総合支所産業課の協力の下、乳牛たちの退牧が行われました。

5月24日から約5ヶ月間、乳牛約90頭を預かり、飼育管理に努めました。

た。干ばつの影響により牧草の状況も悪く、成育への影響も心配されました。が、広大な牧場で遙しく育つた乳牛たちは各酪農家に連れられ、我が家へと戻っていました。

農作業Photos

てん菜収穫



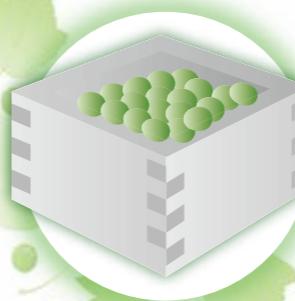
高橋金吾さん圃場(豊川)



佐藤聰一さん圃場(岐阜)



大豆収穫



㈲マルコ小林産業圃場(土佐)



瓦かわき
土田貴千さん圃場(富丘)

有害鳥獣の一斉捕獲を実施



一斉捕獲前に集合写真



左から小林輝和書記長、寺町太智副部長、今橋青年部長、山本副会長

赤い羽根募金に寄付

～JJAところ青年部～

JJAといふ青年部（今橋博行部長）は11月2日、北見市社会福祉協議会常呂支所で、

山本穎治副会長に赤い羽根共

同募金を贈呈しました。

青年部は、10月23日に開催されたJJAところ収穫菜で、小学生向け食育事業として設置した食育専用圃場で種れた

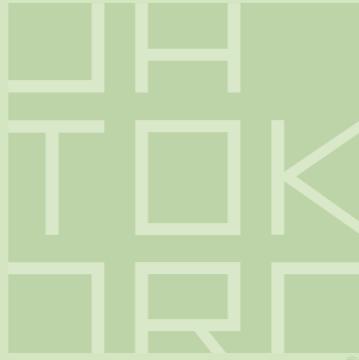
馬鈴薯や玉葱のセットを用意し、赤い羽根共同募金として来場者への募金活動を行いました。

募金額は322,800円となりました。

第9回理事会報告 <10月22日開催>

- ◆美幌農工連 設備資金の借入に伴う連帯債務について
- ◆組合員の土地評価額について
- ◆労働保険事務組合事務処理規程の一部改正について
- ◆令和3年産加工生食馬鈴薯の仮渡金について
- ◆組合員の出資金譲渡について

- 〈報告事項〉
- ◆内部監査報告について
 - ◆不祥事ゼロ運動における現金・棚卸資産管理の自主点検の結果報告について
 - ◆固定資産の取得について(100万円以下)
 - ◆固定資産の取得について(計画外100万円以下)
 - ◆農林漁業セーフティネット資金(災害対策)の受付結果について
 - ◆臨時職員の入組について
 - ◆職員の退職について



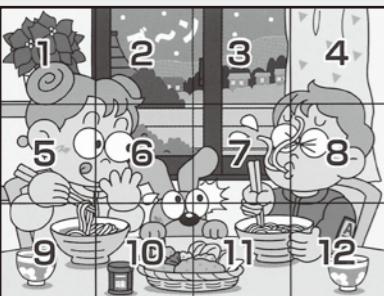
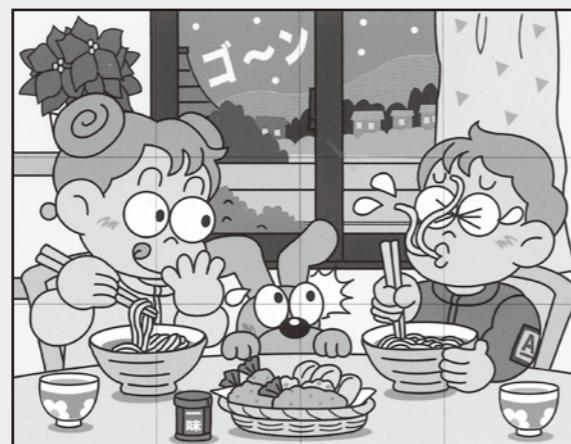
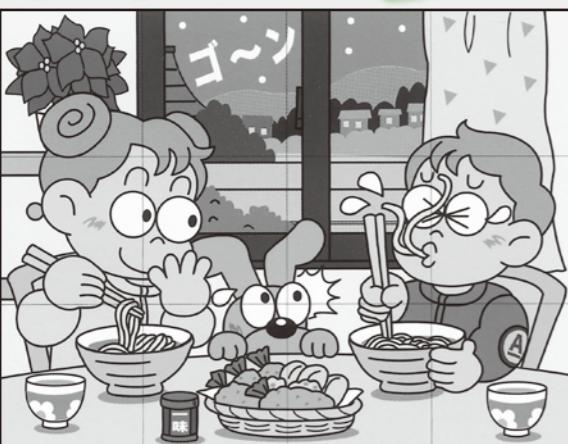
行事予定表

12月1日(水)~12月31日(金)

12月4日(土)	閉組日	12月25日(土)	閉組日
12月11日(土)	閉組日	12月26日(日)	農休日
12月18日(土)	閉組日	12月29日(水)	一般業務仕事納め
12月20日(月)	第11回定例理事会	12月30日(木)	金融共済店舗仕事納め

まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、洗車カードをプレゼントします。

先月の当選者・解答

11月号のクロスワードパズルの答えは「タ・イ・イ・ク・サ・イ」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。

今橋 祐子さん(福山)※()内は地区名です。

読者の声

★常呂のトピック盛り沢山で面白いです。

(匿名希望)

★クロスワード
ちょっと難しかったです。

(福山地区・今橋 祐子さん)



須藤勇一常呂自治区長(左)に農産品を手渡す川上組合長

J A ところは11月18日、北見市常呂総合支所で、須藤勇一常呂自治区長に常呂産玉葱、常呂産小豆を使用したぜんざい、常呂産「きたほなみ」を使用したうどん、ところピンクにんにくを使用しました。贈呈に際し、川上組合長は「本年は干ばつと高温の影響を受け一部の作物で減収となりましたが、農家組合員の努力により、無事に収穫が出来ました。その気持ちも理解した上で、地元の農産品を子供たちに味わっていただきたい」と挨拶を述べました。この取り組みは、地産地消と農育を推進し、知育農業への理解を深めてもらうことを目的に、平成22年から行われおり、これらの食材は小学校の給食や保育所のおやつに使用される予定です。

常呂総合支所へ食材を

常呂町
産業振興公社より
お知らせ

12月より営業時間が変更になります

- 12月~3月まで…9時~17時
- 土曜、日曜、祝日…休業

■営業時間などでわからない事がありましたら(54-3308)までご連絡ください。

JAところ年末年始業務日程のお知らせ

休業日

区分	令和3年												令和4年						
	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	木	
農協業務	●	○	○	○	○	○				○	○	○							○
金融共済店舗	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○						○
本所キャッシュコーナー	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○						○
常呂厚生病院 キャッシュコーナー	○	○	○	○	○	○				○	○	○		30日よりATM稼働終了					
共同給油所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	▲●			▲●	○	○
普及センター	○	○	○	○	○	○				○	○	○					○	○	○
農民同盟	○	○	○	○	○	○				○	○	○							○
共済組合																			
本所事務所																			
家畜診療所																			
人工受精所																			
仕事納め	★	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■							
仕事始め	★	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■							

▲:午前中のみ営業 ●:配送なし ○:通常営業

★:午前は8時30分、午後は13時まで受付対応(当番制)

■:午前8時30分までの受付対応(当番制)

しあわせのおすそわけ

今月は平成27年11月26日にご結婚された共立地区の中島賢人さんご夫婦を紹介します。

KENTO×MARINA×RINTO×KANATO×TSUZURI



Nakajima Family

“おじいちゃん、おばあちゃんになっても笑っていようね”
お二人の出会いは当JAの農業研修がきっかけ。当時研修生として来町していた満里奈さん。4Hクラブの切り上げの時に連絡先を交換。先輩クラブ員に「誰が好み?」と聞かれ賢人さんを選んだのがきっかけだったそうです。「優しそうな人だなって。あと何となく“この人と結婚するかも”と思ったんです」と満里奈さん。その為お付き合いを始めた当初からお互いに結婚を意識していたそうです。

三人のお子さんも一緒に取材させて頂きましたが、お気に入りのおもちゃを見せてくれたり、逆立ちを披露してくれたり、終始にぎやかで楽しく過ごさせて頂きました。

「子育てが落ち着いたら二人で海外旅行に行きたいね」と賢人さん。「仕事で疲れていても家事と子育てを協力してくれる所にとても感謝しています」と満里奈さん。何年経っても仲の良い中島家に幸せをおすそ分けして頂きました♥



2回目のデート・神の子池の前で♥

中島さんご夫婦に質問

●中島家はどんな家族?

隠し事をしない、仲が良くて本音が言い合える家族!

●休みの日の過ごし方・共通の趣味は?

おでかけ、買い物に行くのが多いです。来年は家族でキャンプに行くのが目標です♪

●これからの抱負は?

賢人さん: この先も家族仲良く過ごし、仕事を頑張りたいです!!

満里奈さん: 自分のやりたい事もやりつつ、仕事と子育ての両立!!

編集後記

- 今年も残すところあと1ヶ月となりました。寒さも厳しくなり、路面も凍ってきました。冬道はまだ慣れていないので車の運転が億劫になっている今日この頃です。
- 本年も組合員皆様をはじめ、大勢の方々にご協力を頂き広報誌を発行することができました。来年も皆様に親しまれる紙面作りに努めたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

《営農企画課: 広報担当》

組織地域を担う若者たち

圃場の心土破碎をする寺町太智さん

今月の表紙は、岐阜地区の寺町太智さん(33)です。心土破碎をしているところを撮影させていただきました。撮影後に今後の抱負について聞くと、「経営を引き継いで間もないですが、しっかりと自分の経営を定めて頑張っていきたい」と、真剣な面持で話してくださいました。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

